

国際交流学部国際交流学科 3 年

留学先:デュッセルドルフ大学(ドイツ)

留学期間:2024 年 4 月～2025 年 2 月

・留学のために準備したこと、また、準備しておけばよかったと思うこと

留学前はとにかくドイツ語を学ぼうと思い、単語の暗記に集中していました。しかし、実際に現地での会話では、日本の文化や歴史、習慣について話す機会が多く、日本について深く知らない自分に気づかされました。そのため、単語や文法の学習が一番大切だと思うのですが、日本の伝統文化や歴史についての知識を深め、それらを説明するための表現を事前に学んでおけば、会話がよりスムーズに進んだのではないかと感じました。

・留学先で困ったこと、大変だったこと

ドイツでは、日本のように曖昧な表現を使うことが少なく、意見をストレートに伝える文化がありました。最初は、相手の言い方がきつく感じたり、表情を読み取ろうとして必要以上に気を遣ったりしてしまいました。しかし、ドイツではそれが普通のコミュニケーションスタイルであり、決して相手が怒っているわけではないと分かった、次第に気にならなくなりました。ここは日本ではなく、相手も日本人ではないと意識することで、文化の違いを受け入れられるようになりました。

・これから留学を考えている方にアドバイス

私は言語力や自分の性格を見直したいという理由で留学を決意しましたが、出発直前にはドイツ語をほとんど話せないのに友達ができるのか、初めて親元を離れて海外で生活できるのか、何かトラブルがあったらどうしようと不安でいっぱいになり、出発前はどのようにしてこの選択をしたのかとさえ思いました。しかし、実際に留学を経験した今、最初に抱いた感情も、ドイツにいた時間も、全てが自分にとってかけがえのない宝物となり、大きな自信にもつながっています。不安があっても、少しでも留学してみたいという気持ちとチャンスがあるなら、挑戦してみてほしいと思います。

